

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	デジタルデザイン II	担当教員	今田 太郎	
学年学科	4 年 建築学科	前期	必修	1 単位
学習・教育目標	(D-2) 17%、(E) 83%			
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 近年の情報化社会の中、コンピュータを中心とした情報処理は建築においても非常に重要となっている。本授業ではデジタルツールを活用した応用的な操作技術を学修する。 (1) 3 DCG (スケッチアップ、ベクターワークスなど) を用いたパース画像の作成技術 (2) デジタルツールを用いたプレゼンテーション技術	<b>成績評価の方法：</b> 試験；第 1 課題～第 2 課題について各 50 点；計 100 点における総得点率 (%) によって成績評価を行なう。 また、授業に対する姿勢も配慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の 1～10% を減じた値で評価する 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点 (%) を対応させる。 <b>達成度評価の基準：</b> なお成績評価への重みは(1)50%、(2)50%とする。  (1) デジタルツールを用いたパース作成技術を習得する。 (2) デジタルツールを用いたプレゼンテーション技術を習得する。			
授業の進め方とアドバイス：授業は演習を中心に行うので、自ら積極的に取り組む姿勢が重要である。授業計画を示すので予習・復習を必ず行うこと。				
教科書および参考書： 参考書：特に教科書は指定しないが、積極的に建築およびデザイン関係の書籍・雑誌に目を通し、知識を蓄えること				
<b>授業の概要と予定：前期</b> 第 1 回：授業の進め方 <b>演習課題 1 「添景、背景を配置したパースの作成」の説明</b> アプリケーションの操作方法の復習 第 2 回～第 4 回：「図面をもとにした 3 次元空間の作成」 第 5 回：添景、背景の作成方法についての説明 (添景の作成および配置のポイント、カラーニュなど) 演習課題制作 第 6 回～第 8 回：演習課題制作 <演習課題 1 の提出>  第 9 回： <b>演習課題 2 「プレゼンテーションの作成」の説明</b> ：プレゼンテーション作成ノウハウ (全体構成、ダイアグラムの意味と作り方、レイアウトの技法など) 第 10 回～第 14 回：演習課題制作 <演習課題 2 の提出> 第 15 回：講評会 第 16 回：フォローアップ (期末試験解答解説など)				